

番 号	4 請願第 2 号 (文教委員会付託)
受理年月日	令和 4 年12月15日
件 名	三鷹市立小・中学校におけるマスク着用やワクチン接種について
提 出 者	三鷹市在住 佐野 由夏 ほか 33人
紹介議員	伊沢けい子
要 旨	
<p>(趣旨)</p> <p>1 ここ数年、コロナウイルスの流行によりマスクの着用が当たり前のようになってしまいましたが、今回は請願書という形で意見をさせていただくことといたしました。</p> <p>学校の現状は (学校によりばらつきもありますが)、次のようになっています。</p> <p>(1) マスクを外したくても、人目を気にして外せない。</p> <p>(2) マスク生活に慣れすぎて顔を出せなくなった。(本来のマスクの意味ではなくなっている。)</p> <p>(3) マスクを外していると、先生から注意される。</p> <p>(4) マスクを外していると、ウイルス扱いされる。等々</p> <p>しかし、今後は次のようにあるべきです。</p> <p>(1) 「外したい人は外してもいいです。」ではなく、あくまで本人の意思であるべきで、マスクをしたい人もいれば、マスクをしたくない、またできない人もいる、という認識であるべきである。</p> <p>(2) 先生方は、マスクのリスクに関する知識を十分につける必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マスクによる酸素不足が認知機能低下など、脳への悪影響を及ぼす ・表情が見えないのでコミュニケーション能力が低下する <p>弱毒なウイルスのために大きなリスクを背負う子どもたちの生活を見直すべきだと考えます。</p> <p>マスク着用は健康管理の一つだと考えます。よって、各家庭の考え方や健康等に対する意識も違うため、学校による指導点ではないと考えます。学校生活及び登下</p>	

校における「マスクの着用」は、各家庭、児童・生徒の「自由」であるべきだと考えます。

2 新型コロナウイルス等のワクチン接種も、同じように各家庭、保護者の方針、身体的理由などがあり、それぞれの自由であるべきです。

したがって、学校や教員によるマスク着用やワクチン接種に関するアナウンスはすべきではないと考えます。

子どもたちの豊かで意味のある学校生活のために見直しを求めます。